



治療と仕事の両立支援の相談窓口

産業保健総合支援センター相談員が休みのとり方、会社との付き合い方、治療のスケジュールに合わせた働き方など、仕事を続ける上での工夫について、どなたでも無料で相談することができます。

日時

毎月第3金曜日
10:00～13:00

場所

1階ロビー
(インフォメーションでお声をかけてください)

ふくふくサロンについては当面の間、中止といたします。再開が決まりましたらホームページ等でお知らせいたします。

地域医療支援研修会 (令和5年1月～3月) <時間> 18:00～19:00 / <場所> 管理棟 講堂(3階)

開催日	テーマ	講師
1月 26日(木)	化学療法を受ける患者のアピランスケア	がん化学療法認定看護師 清水 倫子
2月 22日(木)	ACPの基礎知識について	緩和ケア認定看護師 柴田 敏子
3月 23日(木)	入院している認知症の人の生活機能を支えるための支援	認知症看護認定看護師 吉永 奈央

地域医療支援病院の教育活動の一環として、毎月1回(第4木曜の18時～)研修会を開催します。是非ご参加下さい。※事前の申し込みは不要(駐車場は当院外来駐車場をご利用下さい) ※参加される方はマスク着用をお願いします。過去14日以内に、山口県外に移動歴がある方は参加制限をしています。

健康講座の予定 (令和5年1月～3月) <時間> 10:00～10:30 / <場所> 会議室(2階)

開催日	テーマ	講師
1月	4日(水) 早目の気づきが大切 ～急変時の対応～	集中ケア認定看護師 前田 友美
	11日(水) 感染対策の基本	感染管理認定看護師 國弘 健二
	18日(水) 緩和ケアを知っていますか?～がんの診断時から始まる緩和ケアについて～	緩和ケア認定看護師 山本 千春
	25日(水) 認知機能低下を防ぐための生活のヒント～コロナ禍において～	認知症看護認定看護師 吉永 奈央
2月	1日(水) ACPを知っていますか	緩和ケア認定看護師 柴田 敏子
	8日(水) 胃がん、大腸がんの治療について	がん化学療法看護認定看護師 清水 倫子
	15日(水) 睡眠の話	集中ケア認定看護師 岡崎 美幸
	22日(水) 高齢と心不全について	慢性心不全看護認定看護師 山口 健二
3月	1日(水) 手術前に知って得ること	手術看護認定看護師 西嶋 和弘
	8日(水) がんの痛みを緩和する医療用麻薬の副作用と対策について	がん性疼痛看護認定看護師 池田 恵里佳
	15日(水) あなたは大丈夫? かくれ糖尿病	糖尿病看護認定看護師 安田 直子
	22日(水) 早目の気づきが大切 ～急変時の対応～	集中ケア認定看護師 前田 友美
	29日(水) 日頃からの感染対策について	感染管理認定看護師 古賀 香奈子

教室・相談のお知らせ (令和5年1月～3月)

	実施日	時間	場所	参加費	お問い合わせ
糖尿病教室	当面の間、中止といたします。再開が決まりましたらホームページ等でお知らせいたします。				
なんでも相談窓口	1月・2月・3月(月)～(金)	8:30～17:00	医療相談室	無料	医療相談室
マザークラス	当面の間、中止といたします。再開が決まりましたらホームページ等でお知らせいたします。				

※おことわり 上記の日程は、諸事情により変更もしくは中止となる場合があります。ご了承ください。※腎臓病教室は、入院患者のみを対象とするため削除となりました。

診療実績報告 (令和4年8月～令和4年10月)

	外来患者数	入院患者数	新入院患者数	平均在院日数	救急車受入件数	手術件数
令和4年8月	15,684人	10,500人	900人	10.83日	388件	785件
令和4年9月	15,157人	10,229人	806人	11.95日	329件	750件
令和4年10月	15,341人	10,416人	868人	11.05日	297件	848件

基本理念

「心のかような質の高い医療」を提供します

基本方針

「患者の幸せ」のため、質の高い医療の提供を目指します
よりよき医療環境を求めて、地域と共に保健・医療・福祉の充実を目指します
職員の協働活動のため、よりよき環境づくりを目指します

患者さんの権利と責務

- 個人の尊厳を尊重され、医療者との相互の協力関係のもとに良質な医療を受けることができます。
- 病状・検査・治療などについて、十分な説明と情報をうけることができます。また、よく理解できなかったことについては十分理解できるまで質問することができます。
- 十分な説明と情報提供を受けた上で、医療者が提供する検査や治療方法などを自らの意思で選択することができます。また、他医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
- 当院での診療の過程で、医療者が得た個人情報やプライバシーについては厳正に保護されます。
- 所定の手続きをおとりになることにより、ご自分の診療録の開示をお求めになることができます。
- 良質な医療実践のため、自分自身の健康に関する情報を正確に提供する責務があります。
- すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの入院生活や病院職員の医療提供に支障を与えないように配慮する責務があります。
- 安全で優しい療養環境を維持するために、医療に関する法律や病院で決めた約束事などをお守り頂く責務があります。
- 医療費を支払う責務があります。

済生会下関総合病院
Saiseikai Shimonoseki General Hospital



広報誌
冬号
2023 WINTER
No.68

聴く・つなぐ・寄り添う



Medical Social Worker



ようこそ 医療相談室へ

医療相談室では、社会福祉士5名が福祉的な視点から、患者さんが抱える生活全般に関する悩みの相談に応じています。

当院では周産期やターミナル期など、人生の様々な場面の患者さんがいます。また、近年増加傾向にある療養生活が必要な独居高齢者など、複雑な問題を抱える方も少なくありません。患者さんの価値観や人生観を大事にしながらそれぞれの想いに寄り添い、院内の多職種は勿論のこと、必要であれば積極的に地域の関係機関と連携をとり、患者さんや家族の支援を行っています。

なお、当院では経済的な問題を抱えた方でも、適切に医療が受けられるように、無料低額診療事業を実施しています。これは、社会福祉法に基づき、無料または低額で診療を行う事業です。

詳しくは、医療相談室にお問い合わせください。



人と地域をつなぐ

済生会では、医療・福祉サービスにアクセスできない人々(生活困窮者)に対する福祉の増進に寄与する取り組みを積極的に行っています。その一つとして、「下関圏域生活支援協議会」があり、生活困窮者の支援について、地域の関係機関と定期的に話し合いを行っています。

人と人をつなぐ

医療相談室ではどのような相談にも応じる「なんでも相談窓口」を設置しています。内容によっては院内多職種と連携をとりながら対応しています。どなたでも相談できますので、困ったことなどがあればお気軽にご利用ください。



[サポート]
ともに考え支援します



医療と福祉をつなぐ

社会福祉士は、医療チームのメンバーとして様々なカンファレンス等に参加し、福祉的な側面から患者さんの支援を行っています。

脳神経外科リハビリカンファレンスでは、入院中の患者さんのリハビリ状況を多職種で共有し、社会福祉士は患者さんが安心して退院できるように支援を行っています。

がん相談支援センター



がん相談

全国のがん診療連携拠点病院に設置されている、がんに関する相談窓口です。対象者のがん患者さんや家族、地域の方など、どなたでも無料でご利用頂けます。

相談内容として「がんの予防や治療に関すること」、「患者さんや家族の心のこと」、「療養生活の過ごし方」など、がんに関する不安や悩み、誰にも打ち明けられない気持ちや、病気に対する疑問など、様々な相談をお受けします。

一人で悩まないで下さい
がんを悩むあなたを
支えます



治療と仕事の両立支援

【山口県産業保健総合支援センター】

～病気でも働き続けたい。
そんな働く人の気持ちを応援します～

がん、脳卒中、心疾患、糖尿病、肝炎、難病など反復・継続して治療が必要となる患者さんが治療を受けながら仕事を続けるための相談に、両立支援促進員などが対応致します。相談料は無料です。

【ハローワーク】

～療養しながら働きたい方を応援します～

ハローワーク下関からの出張職業相談を行っております。「通院の必要があるが働きたい」、「自分の病状や体力に合った仕事を探したい」など、マンツーマンで就職支援をします。お気軽にご相談ください。

アピアランス推進事業

山口県では、がん治療に伴う外見（アピアランス）の変化に対するケアを通じ、社会参加を支援し、がん患者のQOL向上を図るため、がん治療により脱毛した場合のウィッグやケア帽子、乳房切除された場合の補正下着などの購入費を助成する制度があります。ウィッグの試着や購入などのご相談もお受けします。



ふくふくサロン

がん体験者や家族が集い、それぞれの体験や悩み、不安を語り合う場所です。病気の経過はそれぞれ違いますが、同じような体験をもつ患者さんや家族と話すことで、病気や治療と向き合うヒントをつかめることがあります。

事前予約は必要ありませんが、現在コロナ感染拡大予防のため、休止しています。再開する際は病院のホームページや広報誌でお知らせいたします。



入退院支援

安心して入退院できる環境を整えます



入退院支援室の看護師が、患者さんの情報を確認したり、希望を伺ったりします。また、入院生活のスケジュール表やパンフレットを使用して、分かりやすい説明を行います。不安や疑問などを解消し、快適に過ごせるよう院内多職種と連携していきます。

退院時は入院前の生活の様子や福祉サービスの利用状況を参考に、ケアマネジャーや専門スタッフと連携をとり、生活上の注意点や準備について一緒に考えることで、安心して退院できるよう支援していきます。

環境が変化する入退院時に患者さんや家族が抱える大きな不安を取り除けるよう、親身になって支援しています。

外来

入院

在宅

入退院支援看護師

- ▶入院後の予定や検査などの説明
- ▶療養に必要な情報の確認
- ▶入院に必要な書類の説明
- ▶ケアマネジャーとの連携

▶ケアマネジャーと連携し自宅の療養環境や介護サービスの調整

在宅ケア科

- ▶退院前訪問
- ▶訪問看護

医療ソーシャルワーカー（MSW）

- ▶医療費や社会福祉制度などの相談

薬剤師

- ▶内服薬・休止薬の確認
- ▶内服の自己管理指導

管理栄養士

- ▶食品アレルギー確認
- ▶食事の嗜好についての相談
- ▶栄養指導

その他：各専門職種のサポート

- ✓がん相談員
- ✓認知症看護認定看護師
- ✓がん性疼痛看護認定看護師
- ✓歯科医師
- ✓歯科衛生士
- ✓理学療法士
- ✓麻酔科医師
- ✓手術室看護師
- ✓臨床検査技師
- など

在宅ケア科 (訪問看護)

「病や障害とともにある暮らし」に
安心を届ける看護



当院の訪問看護は、人工呼吸器を装着するなど医療依存度の高い高齢者や小児、がん患者さんなど、多様で幅広い年代を対象としていることが特徴です。そのため、がん性疼痛看護認定看護師、認知症看護認定看護師、介護支援専門員が在籍し、ニーズに合わせた質の高い最良の看護を提供するため、日々活動しています。

「こんな生活を送りたい」、「最期まで自宅で過ごしたい」など、患者さんやご家族の考えや価値観を大切にしています。病や障害とともにある暮らしが安心して豊かなものになるよう、院内をはじめ、地域の訪問看護ステーションやケアマネージャー、介護サービス事業者などと連携し、医療・介護・福祉など多面的な支援を行っています。

患者さんやご家族、サービス事業者などの皆さまに「済生会の訪問看護で良かった」と感じていただけるよう、日々努めています。



安心してケアを受けていただけるよう、安全で丁寧なケアを心がけています



身体も心もホッとしてもらえるよう
触れ合いを大切にしています



最新CT装置のご紹介

世界最多列 320列CT (Canon Aquilion ONE) が
当院に導入されます

このたび従来の64列CTから新たに320列CTが導入されます。この装置は0.5mmの検出器を320列配置することにより1回転(0.275秒)で16cm幅の範囲を撮影できます。このため心臓や脳の検査では寝台を動かすことなく、超高速で撮影できます。

拍動している心臓の血管や脳血管が極めて鮮明に描出されます。また造影剤を投与しながら連続回転で撮影することにより臓器の血流動態が評価できますし、関節や臓器の動きなどを観察することも可能です。このように形態情報のみでなく機能情報も得られるようになります。

心臓、脳以外の全身の各臓器でも以前よりも短時間で検査が終了します。超高速で撮影できるため息止めができない新生児や幼児、高齢者でも鮮明な画像が得られ、より正確な診断に寄与します。

一方、放射線被曝や息止め時間、造影剤投与量は低減されますので、患者様への負担はさらに少なくなり、安心して検査をうけていただけます。

放射線科 箕田 俊文



画像提供: キヤノンメディカルシステムズ株式会社